

令和元年度  
事業報告書

社会福祉法人 悦生会  
特別養護老人ホーム なごみの里

令和2年3月31日

## 令和元年度事業報告

社会福祉法人悦生会

### 社会福祉事業

#### ○入居状況

・平成31年4月1日より2年3月31日までの入居者。 新入居者 43名

月別延入居者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
30年度	5,325	5,546	5,347	5,452	5,409	5,235	5,448	5,192	5,360	5,331	4,888	5,398	63,931	5,328
元年度	5,218	5,346	5,242	5,495	5,547	5,351	5,521	5,321	5,493	5,487	5,172	5,466	64,659	5,388
入院延人数	97	111	142	91	103	190	174	135	105	277	241	100	1,766	147.2
平均稼働	173.9	172.5	174.7	177.3	178.9	178.4	178.1	177.4	177.2	177.0	178.3	176.3		176.7
(入院差引)	170.7	168.9	170.0	174.3	175.6	172.0	172.5	172.9	173.8	168.1	170.0	173.1		171.8

・平成31年4月1日より2年3月31日までの退居者 41名

退居状況 特養 2人 医療機関入院 18人 死亡 20人 居宅 0人 有料 1人

#### ○申込状況

・平成31年4月1日より令和2年3月31日までの申込者数 62件

・令和2年3月31日現在の待機者数 23名

#### ○利用者状況

・令和2年3月31日現在の利用者 男女別数 男46名 女130名

・令和2年3月31日現在の利用者 平均年齢86.4歳 男83.0歳 女87.6歳

～65歳2人 65～75歳16人 75～85歳44人 85～95歳96人

95～110歳18人

・令和2年3月31日現在の利用者 平均介護度 3.5

・令和2年3月31日現在の利用者 介護度別

要介護1=6人 要介護2=27人 要介護3=55人 要介護4=46人 要介護5=42人

#### ○特別養護老人ホームとしての取組み

「安全」「安心」「家庭的」を主としたそれぞれに寄り添った個別ケアを実現していくとともに、利用者様はもちろん、ご家族や職員一人一人の心が温かくなるような笑顔のあふれる施設を目指し、地域や家庭との結びつきも重要視しながら、利用者様にとって安心して生活ができる空間づくりができるよう

日々努めております。

また、今年度は新たにボランティアさん主催のネイルサロンや一座によるお芝居、職員によるミニ運動会や紙芝居など、利用者様が癒し・元気・希望を感じ、自然と笑顔になっていただける様な活動も積極的に行いました。

#### ○人材確保と組織強化について

人材確保については、少子高齢化、ライフスタイルの変化、経済状況など社会を取り巻く環境の変化により、福祉業界だけではなく全業種で慢性的な人材不足が続いているのが現状です。当法人においても人材確保を一番の課題ととらえ、昨年度より求人専任職員を配置し、福祉専門学校や埼玉県内の大学に直接訪問をしてきましたが、直接的な反響はありませんでした。また、今年度はハローワークや求人誌等での募集はもとより、行政や社協が主催する福祉就職フェア・面接会等に参加をし、人材確保に努めました。一年を通して応募者の獲得に苦戦し、紹介会社の人材紹介サービスなども利用せざるを得ない状況が続く、経費の負担も多くなってしまいました。今後もこの状況下に対してさらに厳しい状況が続くことが見込まれ、当法人においても令和元年度以上に危機感を持ち、人材確保について強化をしていかななくてはならないと考えております。また、そのためには、人材育成の面でも、専門的知識の習得にとどまらず、「人」を育てることをもっとも大切にし、一人一人がいきいきとやりがいを持って働き成長してくれるような環境をつくるのが当法人の使命であると考えております。そのためには、職員一人一人が必要な能力を獲得し、一組織人として成長できる教育や指導の体制と、全職員が当法人に入職する者に対して関心を持ち、皆でその育成に関わっていくという気持ちが重要だと考えております。そのために、昨年度から始めました組織づくりの強化を引き続き行い、今年度は各部署に主任を配置、各フロアにはフロアリーダーを配置し、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上などを進めるとともに、働く環境の整備や職員の処遇改善により、人材確保の促進に努めています。

#### ○インフルエンザ・コロナウイルス感染症について

インフルエンザ感染防止のため、職員・利用者様のインフルエンザワクチンの接種はもちろんのこと、毎年11月より翌年3月末まで利用者様の外出制限、手指消毒、全職員のマスク対応、アルコールや次亜塩素酸等での消毒で感染防止を講じております。今年度は職員で感染者が発生してしまいましたが、利用者様に感染は確認されず、昨年度のような、インフルエンザ感染拡大防止での面会制限は設けませんでした。

しかしながら、11月に中国の武漢市で原因不明のウイルス性肺炎が確認され、後に新型コロナウイルスとして世界的に大流行をもたらしました。当法人でも、感染防止のため、2月27日から面会禁止の対応やマスク着用の徹底、手洗い・手指消毒はもちろんのこと、全職員ならびに厨房業者や宿直などの委託業者の出勤時の検温・事務所内飛沫予防のビニールカーテンの設置など新型コロナウイルス対策委員会を中心に、重症化しやすい利用者様を絶対に感染させない様に、職員全員が介護施設従事者として危機意識と責任感を持って慎重に、感染予防に努めました。

今後も終息のめどはたっておらず、長期化も予測されることから、職員が一丸となり新型コロナウイルスの対応や危機管理意識の徹底を図るよう、継続的に周知していきたいと思えます。

#### ○中国人技能実習生の受け入れ

平成29年度より取り組んできた中国人技能実習生の受け入れを今年度から開始致しました。当法人は次のことを目的として中国人技能実習生を受け入れます。

- ①当法人の介護技術や知識および倫理を改めて確認し再構築する。
- ②中国人介護職と共同できる組織体の下地をつくる。
- ③当法人の介護の技能を中国の高齢者介護に役立てられるよう発展に寄与する。

また、次の中国人技能実習生の受け入れを検討・進めるほか、実習指導者を介護主任とし、実習指導体制の強化を図ります。

3月27日に実習生2名が本館に入職致しました。日本語がある程度でき、とても勉強熱心な方々で現場では助かっており、また他の職員にとってもいい刺激となっています。業務の理解や把握も早く、日勤帯以外の勤務も順調にこなしています。

#### ○短期入所生活介護（空床利用型） 平成28年11月1日開始

令和元年度は7件、延べ71日の利用があり、入所の稼働率が上がった分、前年度より稼働率は下がったものの、空床をうまく活用する形での利用となりました。今後も、空床が発生した場合には速やかにご利用につながる様に、利用者様の獲得と利用定着に向け取組み、利用率の向上を図ります。

同時に継続して利用者様・ご家族にとって、安全・安心・家庭的を主としたサービスの提供に努めてまいります。

また利用者様1人1人が可能な限り、居宅において自立した日常生活が営めるよう、利用者様の心身機能の維持・向上ならびにご家族様の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目指すとともに、自分らしく生きることへの意欲が持てるような環境づくりを心がけ、利用者様の意思や希望、個性を大切にしながらに介護者であるご家族様の信頼を得て、利用しやすい施設運営も行っていけるよう、心がけていきます。具体的には、送迎の遅延や持参品の返却漏れなどがないように徹底し、利用者様・ご家族の満足度アップを図ってまいります。

#### ○PC端末ならびに共有サーバーの入れ替え

施設で使用しているPC端末ならびに共有サーバーの入れ替えを2019年7月に行いました。

#### ○福祉車両の購入

円滑で効率的な利用者様の受診送迎を行うため、新たに福祉車両（リフト付きハイエース）を購入致しました。

○施設内各種委員会・会議運営

<委員会>

- ・介護技術向上委員会 (旧排泄委員会) 1 2 回開催  
(施設の各職種参加)  
(利用者の排泄ケアについて協議)
- ・給食委員会 (施設の各職種参加) 1 2 回開催  
(給食の内容や利用者の意見・希望の協議、問題点の改善など)
- ・事故防止対策委員会 (施設の各職種参加) 1 2 回開催  
(施設内の安全対策や事故報告・ヒヤリハットの報告と徹底)
- ・介護サービス向上・苦情解決委員会 6 回開催  
(施設の各職種参加)  
(苦情解決の取り組みを通じて、サービス向上を目的とする)
- ・感染対策委員会 (施設の各職種参加) 6 回開催  
(施設内の感染症対策や食中毒の防止)
- ・労働安全衛生委員会 (施設の各職種参加) 6 回開催  
(安全・衛生に関するの審議を行い、働きやすい職場づくりについて)
- ・褥瘡予防委員会 (施設の各職種参加) 1 2 回開催  
(褥瘡発生防止のための協議)
- ・身体拘束廃止委員会 (施設の各職員参加) 6 回開催  
(利用者の身体拘束の廃止について)
- ・新型コロナウイルス感染対策委員会 2 回開催  
(施設の各職種参加)  
(新型コロナウイルス対策や感染防止)

<会議>

- ・施設運営会議 (旧連絡会議) 1 2 回開催  
(施設の各職種参加)  
(施設全体での連絡事項や改善事項、検討事項の協議など)
- ・ケア連携会議 (施設の各職種参加) 1 2 回開催  
(各職種で情報交換を行い、サービスの質の向上や問題改善の協議)
- ・担当理事会議 (施設内理事参加) 2 回開催  
(主任会議等で結論が出せないものなどがあがってきた議題を検討していく)
- ・主任会議 (各部署の主任参加) 3 回開催  
(各部署での連携強化や連絡事項や改善事項、検討事項の協議など)
- ・ユニットリーダー会議 不定期開催

(ユニットリーダー参加)

(ケアの見直しや業務の改善等を協議)

- ・ケアプラン会議 (施設の各職種参加) 8 1 回開催  
(ケアプランの内容を検討) (延 2 1 5 名)

## ○職員研修

(施設外)

- ・チームリーダーキャリアパス研修 6月4日・18日 3名参加
- ・介護支援専門員更新研修 6月 1名参加
- ・ターミナルケア研修 7月8日 1名参加
- ・防火管理研修 8月～1月 2名参加
- ・中堅職員キャリアパス研修 8月14日・26日 3名参加
- ・労働契約等解説セミナー 9月6日 1名参加
- ・財務管理研修 10月15日・23日 1名参加
- ・虐待と身体拘束研修 10月21日 4名参加
- ・床ずれの原因対策から寝たきり予防まで  
高齢者の皮膚を守るスキンケア研修 12月7日 1名参加
- ・働きがいの向上とチーム活性化の方法研修 12月11日 1名参加
- ・ユニットケアフォローアップ研修 1月9日 2名参加
- ・応急手当普及研修 1月17・21日  
22日 1名参加

(施設内)

- ・新卒・新人職員研修 1回 1名参加
- ・熱中症・脱水症について(大塚製薬) 1回 全職員対象
- ・AED講習(さいたま市北消防署) 1回 14名参加
- ・紙おむつの正しいつけ方(白十字) 1回 16名参加
- ・接遇マナー研修(あいおいニッセイ同和損保) 1回 全職員対象
- ・乳がんセミナー(あいおいニッセイ同和損保) 1回 16名参加
- ・消火訓練(さいたま市北消防署) 2回 全職員対象
- ・スキンケア研修 1回 各ユニット職員対象
- ・床ずれ研修 1回 各ユニット職員対象
- ・標準予防策の徹底・飛沫感染予防(白十字) 1回 13名参加
- ・事故防止についての研修 2回 24名参加
- ・感染症対策研修 2回 20名参加
- ・高齢者の虐待についての研修 2回 22名参加
- ・身体拘束廃止についての研修 2回 49名参加
- ・褥瘡予防についての研修 2回 33名参加

○行事およびレクリエーション

各ユニット及び2つのユニットがペアになっているペアユニットごとに、行事やレクリエーションを行い、お正月などの大きな行事はフロア単位で行いました。

本館1階全体＝夏祭り・餅つき・手作りクレープ・豆まき

本館2階全体＝ハロウィンパーティー(秋祭り)・餅つき・手作りクレープ・ネイルサロン

本館3階全体＝秋祭り・餅つき・手作りクレープ・豆まき

別館1階全体＝秋祭り・餅つき・手作りクレープ

別館2階全体＝秋祭り・餅つき・手作りクレープ・お花見

別館3階全体＝秋祭り・餅つき・手作りクレープ

別館4階全体＝秋祭り・餅つき・手作りクレープ・お花見

(ユニット毎)

キセキレイ ＝誕生会・母の日・敬老会・外食(サーティーワンアイスクリーム・アリオフードコート)・かき氷会・忘年会

シジュウカラ＝誕生会・敬老会・クリスマス会

カルガモ ＝誕生会・お花見・外食(ミニストップ)・クリスマス会

オナガ ＝誕生会・食事会・クリスマス会

キジ ＝誕生会・クリスマス会・おやつ会

メジロ ＝誕生会・手作りうどん・手作りプリン・外食(アリオフードコート)  
お花見・七夕・散歩

カワセミ ＝誕生会・お花見・カラオケ大会・外食(はま寿司)

ジョウビタキ＝誕生会・敬老会・クリスマス会・外食(丸亀製麺・アリオフードコート)  
母の日・手作りゼリー

マガモ ＝誕生会・おやつ会・紙芝居

アカゲラ ＝誕生会・外食(徳樹庵)・おやつ会

ねむのき ＝誕生会・お花見・豆まき・初詣・アイスパーティー

くれない ＝誕生会・母の日・敬老会・クリスマス会・初詣・豆まき・お花見・お茶会・女子会

ふじ ＝誕生会・敬老会・書道

もも ＝誕生会・母の日

すみれ ＝誕生会・敬老会・ハロウィン・クリスマス会・豆まき

あおい ＝誕生会・敬老会・初詣・クリスマス会・豆まき

つゆくさ = 誕生会・クリスマス会・敬老会・豆まき

やまぶき = 誕生会・外出(バラ園)・散歩

### ○リハビリテーション

作業療法士による個別機能訓練、集団訓練によるレクリエーションを実施いたしました。

個別訓練では、ニューステップ・平行棒を使用した利用者様1人1人に合わせたストレッチや関節可動域訓練、筋力トレーニングを行い、利用者様の負担のかからない有酸素運動で心肺機能の維持や向上、硬縮予防、持久力の強化を図りました。

また、この他にもボランティアの方の協力による集団体操等を実施、日常的に生活リハビリテーションも行なっております。

### ○口腔ケア

歯科医師・管理栄養士・介護支援専門員・介護福祉士等の専門多職種との連携および協働による、口腔ケアの実践に取り組んでおります。

歯科医師による嚥下テストの結果やご指導、助言をいただいた内容をもとに、利用者様の口腔内を清潔に保つことが、咀嚼などの口腔機能に活力を与え機能維持することを念頭におき、「口から安全に食べる」「感染症の予防」「誤嚥性肺炎の発症予防」等を多職種で話し合い、利用者様に合った口腔ケアが実践できるように努めました。

### ○地域交流

昨年度に引き続き、今年度も施設を開放し地域交流サロン「なごみ橙(オレンジ)」を開催いたしました。

介護予防体操や栄養士による風邪予防をテーマにした話など、毎回異なったテーマで、地域の皆様が住み慣れた地域でいつまでも健康で豊かな生活が送れるような、暮らしに役立つ内容を実施いたしました。

また地域に寄り添った施設を目指しながら、1人でも多くの方が当施設にご興味・ご理解をいただけるように、お茶やお菓子を囲んでの交流はもちろんのこと、施設内のご見学やご質問などにも積極的にお答えし、地域の方々との距離をより身近に感じていただけるよう心がけました。